

令和4年度事業報告（抜粋）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

○全般の状況

新型コロナウイルス感染症に対する行動制限緩和などにより人流は回復傾向にあり、東海道新幹線の令和4年度の輸送量は平成30年度との比較で74%まで回復しています。

こうした状況のもと、当社はJR東海の計画に沿って着実に工事を進め、チーム双葉で鉄道インフラメンテナンスの役割を果たすとともに、異常時には速やかに対応して、安全・安定輸送に貢献しました。

○事業部門別の状況

○軌道部門

JR東海の計画に沿って橋マクラギ更換を前期比2.3倍施工するなど、品質の良い、安全性の高い線路づくりに貢献しました。

令和6年4月から建設業に対して働き方改革関連法案が施行されることから、新幹線の軌道協力会社ごとに週1回の休工日を設定しました。また、将来的な働き手不足が見込まれることから、機械化施工の実用に取り組み、御殿場線において在来線ロングレール更換機による施工を行いました。

中央新幹線建設工事では、品川駅の地下40mにリニア中央新幹線新駅を新設するために、平成29年から開始した既存のバラスト道床軌道から工事桁軌道にする工事を令和5年2月に完了しました。

○土木部門

JR東海の重要施策として進めてきた大規模改修工事の工事量が減少するなか、新横浜地区の耐震補強工事、大規模改修工事に伴う高架下支障移転工事を鋭意推進するなどJR東海の計画に沿って工事を着実に進めました。

安全面では、工事に使用する機械・器具の取扱いに関する安全マニュアルや映像教材を作成するとともに、クラウドストレージサービスにより場所に捉われずにいつでも閲覧できる仕組みを構築して、作業員の安全意識の高揚を図りました。

中央新幹線建設工事では、山梨実験線ガイドウェイパネル撤去工事を無事故で完遂したほか、相模原市内取得用地仮さく等設置工事を新たに受注し、中央新幹線工事の推進に貢献しました。

[事業部門別の売上高、受注高]

（単位：百万円）

| 部 門 | 売 上 高 | 受 注 高 |
|-----|--------|--------|
| 軌 道 | 11,030 | 20,646 |
| 土 木 | 9,661 | 16,241 |
| 合 計 | 20,692 | 36,888 |